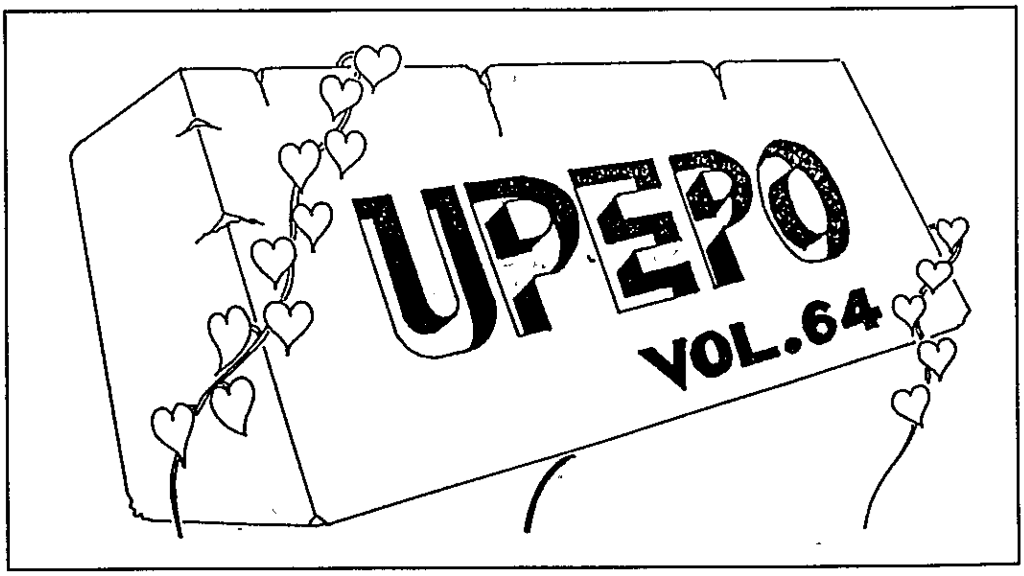
〈ケニア協力隊機関誌“ウペポ”第６４号より〉



新隊員／最初の一発

氏名	佐々木謙次	♂/♀	生年月日	1969年 8月 31		職種	社会学		隊次	6/1	
任地	メルー	出身地	広島県	血液型	①/−	A	星座	♈♉♊♋♌♍♎♏♐♑♒♓			

好きな歌	ビートルズ
好みのタイプ	夢もってる人
趣味・特技・得意技	散歩
日本での仕事	してました。やめました。
恋人は？	フリーです。
座右の銘	ENJOY LIFE. THIS IS NOT REHERSAL.
最初の一発／何でもどうぞ	がんばります

“ウペポ”とは…

ウペポとは、スワヒリ語で“風”という意味の、ケニアの協力隊員で作っている機関誌である。年に３回発行している手作りのこの機関誌の中に、佐々木君の作品が２つ載っている。

〈“ウペポ”第６５号より〉

性欲

匿名

やっかいなものだねえ。動物としての生殖本能。人間の英知の結果かどうか知らないけど生殖に結びつかない性欲の処理が可能となっちゃって。動物と違って一年中発情期にある人間さんは性欲に従ってだけいると、秩序が乱れる、こどもが生存可能数以上に増えてしまうという理由からか結婚という制度をつくって制御するようになったみたい。結婚によって性交＝生殖が認められて、それ以外の性交はモラルによって禁止。仕方ないから結婚に至っていない若者は自慰行為にふけることになる。しかしそんなことでエナジェティックな若者が満足するはずがない。そこで

ＦＯＮＤＬＩＮＧ　キクユ式正しい添い寝のしかた。

1.同じ年齢階梯の中からパートナーを選ぶ。「特別」な関係である必要はない。
2.女性は男性に従ってベッドに。
3.男性は「ふるちん」になる。
4.女性は上衣を脱ぐ。スカートと革製のエプロンはつけたまま。
5.女性は「秘部」を効果的に守るべく、エプロンを股の間からスカートといっしょに織り込む。スカートの後ろ裾を股の間から前に持ってきて腰に結わえる。
6.顔を向かい合わせて添い寝する。
7.お尻に余計な動きを生じさせないよう足をからめる。
8.愛撫を始める。胸をずり合わせる。
9.と、同時に穏やかに眠りにつくまで愛の言葉をかわす。

注意事項

1.目的はお互いの肌の温もりを感じ合うことにあるのであって、性交渉を成し遂げることではない。
2.添い寝の間、男性は女性のスカートを脱がそうとしてはならない。
3.男性は女性がそれに触れるのを避けるべく自分の「もの」を股にはさみこむ。
4.男性も女性も相手に背をむけてはいけない。
5.女性が上になってはいけない。
6.女性が男性の「もの」に触れてはいけない。汚いものである。

しかし、それでもやっぱり若者の知的好奇心と性欲は満たされない。そこで

ＣＯＮＴＲＡＣＥＰＴＩＯＮ

こいつの発展が著しい。膣外射精から始まってリズム法、コンドーム、ピル、注射、ＩＵＤ、避妊手術・・・。もともとは母子の健康のために開発されたものなんだろうけど、こいつのために性交と生殖を必ずしも結びつかなくなっちゃった。

生殖に結びつかないということは性交を結婚に結び付ける必要もなくなったわけである。ということで、伝統的に婚前、婚外交渉をモラルによって厳しく禁止されていたケニアでも、いわゆる「初体験」が１２－５歳くらいとなってるみたい。学校じゃ問題だって騒いでるけどね。こればっかりはとめようがない。これじゃ子供が増えるわけだ。

日本でも調査によると、「愛、契約さえあれば婚前交渉は可」とする人がすでに大多数を占めている。変われば変わるもんである。世も末なのかなあ。

CONTRACEPTION に関しては、ケニアでは世界の潮流にのってピルが多数派を占めてるのに、日本は世界でも珍しいコンドーム派。女性の力が強いせいなのかどうなのか。このへんは女性にも聞いてみないと。数年前マイルーラなるものが登場、コンドームもこれまでか、となったのが難なくＡＩＤＳによって救われてしまった。日本のコンドームは健在。

こいつは相手を見つけることができるばあい。そうでないばあいは

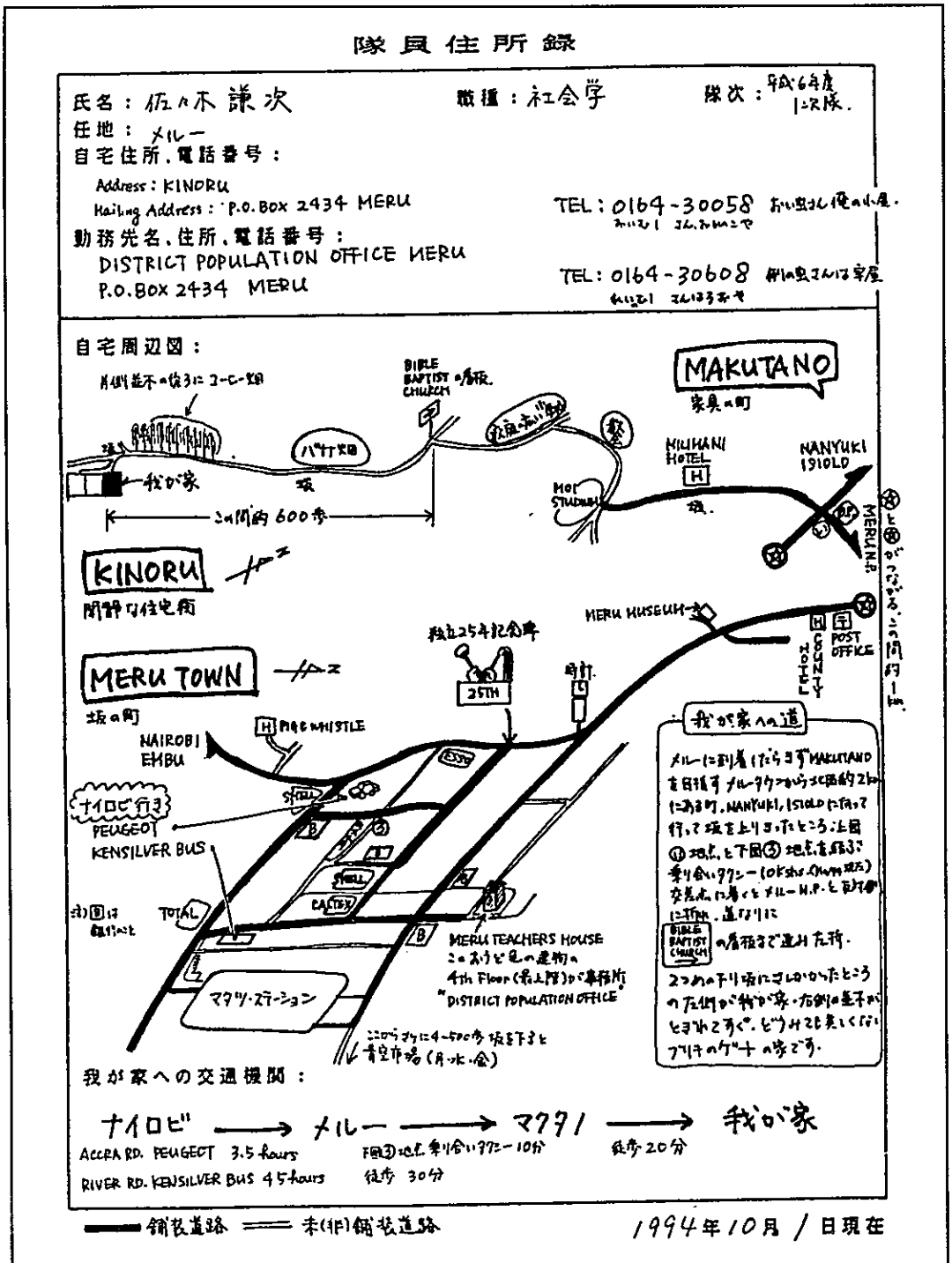
PROSTITUTION
こいつは人類史上なくなったためしがないそうである。大昔、避妊法が開発されてないときどうしてたかは知らないけど、こいつこそ生殖に結びつかない性交を前提としないとなりたたないもんね。簡単な避妊法が開発されて一段とはやってるんじゃないかな。
お世話になってる人もいるのかも知れないけど、ナイロビにはごまんといるいたいね。ナイロビに限らずわが街でもその近所の小さい街でも立っている。でもだれも「やめろ」とは言えないみたい。せいぜいＡＩＤＳにならないようにコンドーム教育をするくらい。他に稼ぐ術がないからね。
でもやっぱり世も末だと思わせるのが日本の状況。風俗産業花盛り。ＡＩＤＳのおかけで減ってはいるみたいだけど、まだまだ売春ツアーもあるみたいだし。女子校生が売春で捕まるっていう新聞記事にはいつもびっくりしてしまう。あっ、なんかおっちゃんくさくなってしまった。ケニアが発展してもそうならないように祈っとこ。
こいつは昔からの性の形態。最新のやつが

HOMOSEXUAL
さらに進んだ性の形態がこれ。避妊をしないでも、どうあがこうが生殖にむすびつきっこない。性欲を満たしたいけど子供つくりたくないから避妊、と考える必要すらない。内から湧き上がる性欲を好きなだけ、好きなように、おもいっきり満たしても赤ん坊ができる心配はない。こいつは世界規模で人口問題がとりざたされてる今、画期的な解決法かもね。これぞ本当のNatural Family Planning Methodかもしれない。いわゆるホモだけでなくてサド、マゾついでに生殖不可能な幼女が好きなロリコンもこれに通じるものがあるのかな。
ちなみにhomosexualは人間だけの専売特許じゃないっていうのが通説。ネズミを使った実験で、ネズミをぎりぎりのストレスがたまる過密状態に保って３代飼育してみたら（「ひどい」と言われても困る。僕がやったわけではない）、まず性行動に異常がみられたっていう報告がある。同性愛が出現して、幼女を犯したがるねずみ、インポもあらわれたみたい。やっぱり人口（ねずみ口）問題と関係しているのかも。
そして、いよいよ

CONCLUTION　もしくは　EXCUSE
ひとつ言っとくけどこいつらは性の形態でもなんでもないからね。日本語でいうところの「結論」と「言い訳」。
こんなものに結論がだせる訳がない。ということで言い訳をすると、このところみょーに忙しかった。ＵＰＥＰＯに載せる作文を考える暇もない。人口の問題にかかわっててどうも性欲というものがひっかかる。だもんで性欲から文明論でもぶってやろうとおもってたんだけど、自分のことをよく認識してなかったみたい。そんなもの俺に書ける訳がない。
と、いうわけで、特に満たされてるわけでもないけど、性欲がたまってるわけではありませんので誤解のないように。いつも性について考えているわけでもありませんので変な目で見ないでください。
ＵＰＥＰＯの人からケニアでの失敗談などを書いてくれという申し出があったけれども、性に関して失敗談があるわけではありません。ましてや成功した話など私めにあろうはずもございません。失敗といえばこんな話を平気（でもないけど）で人前で言えるようになったことかな。
Ｍｙ　Ｋｅｎｙａｎ　Ｇｒａｆｉｔｙ　というたいそうな編纂書物にこれが載るのも末代までの恥となりますので、できましたらボツ原稿としてもらいたいと、心から切にねがっております。

平成６年度１次隊　　メルー在住　　佐々木　謙次

〈ケニア隊員住所録より〉



ケニア隊員住所録について…

毎年１回、隊員で作っているこの住所録の中に、佐々木君の任地であるメルーの町も彼の家も職場も、この１枚に描かれている。

あ し あ と

＜派遣前訓練＞

1994

4･11	広尾訓練所入所式
*	語学講座を始め、交通安全講座、任国事情、保健衛生講座 国際協力講座などの各種講座を受講
27	ソフトボール大会
29	Ａクラス　アウトドア・レッスン　有栖川公園
5･12-14	山中湖畔にて野外訓練　（8KM ロードレース大会等）
21	Ａクラス　アウトドア・レッスン　水上バスで隅田川下り
27	Ａクラス　ビデオ鑑賞　"A River Runs Through It"
6･ 2	語学研修旅行　　山梨　身延山、身延神社　　身延泊
3	〃　　甲府　昇仙峡　　石和温泉泊
4	〃　　甲府　ワイナリー見学、武田神社、善光寺
11	リチャード先生　バースデーパーティ 語学交流会　（委員として、この日の準備に活躍する）
18	Ｃクラス　アウトドア・レッスン　都庁
23	Ａクラス　アウトドア・レッスン　新宿御苑
24	語学発表会　（メキシコで日本の単車の免許を、うまいことを 言って自動車の国際免許に書き換えた、愉快な話を披露）
25	広尾訓練所　訓練修了式
27	派遣前オリエンテーション
28	皇居　天皇拝謁
29	平成６年度１次隊　壮行会

派遣前訓練のアウトドアレッスン

＜現地訓練＞

1994

7･16　成田（東京）発　ロンドン着　トランジット
　　ピカデリーサーカスへ皆でくり出す　ヒルトン・ホテル泊
17　ウインザー城・ロンドン市内観光　本など購入する　ロンドン発
18　AM 8:55 ケニア　ナイロビ着
18-21　YMCAホテル、JICAオフィスにて　オリエンテーション
18　前任者落合隊員と会う
20　日本大使館、大蔵省表敬訪問
22-24　任地メルーを落合隊員の案内で訪問する
　　ナイロビに戻り、「やぁー、いいところだった。」を連発
25-　語学研修始まる（トランス・アフリカにて　スワヒリ語研修）
29-31　希望の家奉仕活動（マトゥマイニ・チルドレンズホームにて）
29　ギゼリ(現地食）攻撃に閉口　庭で毛布にくるまって流れ星を数える
30　マンダジ、チャパティ作りに挑戦「ハート形にしてどうするん?」
　　夕食後パーティ　夜、子供達と庭でダンス
31　子供達の音楽発表会の練習に参加する
　　ホームより帰り、ナイロビ市内で中華料理をたらふく食べる
8･1　休日　キコンバ・マーケットへくり出す　木彫り職人見学
　　進藤さん、高見隊員、モロッコ隊員、同期隊員と
2-　スワヒリ語研修（トランス・アフリカにて）
6　アウトドア・レッスン　ナイロビ博物館、シティ・マーケット
　　マクミラン図書館、日本文化センター、国立文書保存館見学
　　ボーマス・オブ・ケニアで伝統的土壁の家と伝統舞踊を見学
7　休日
8　"けんちゃんの誕生日"　ドロボー市、680 ホテルでお茶、
　　コンファレンスセンターの屋上よりナイロビ市内を見渡す
　　夜、日本人倶楽部にて、小倉アイスでハッピー・バースディ
9-　スワヒリ語研修
13　昼から休み　ンゴンゴ・ヒルへハイキング
14　休日　救急法講座（ドミトリーにて）
15-　スワヒリ語研修
17　学校でケニア料理を教わる　（ウガリ、野菜、牛肉炒め等）
19　語学研修終了　語学テスト、先生とさよならパーティ
　　しっちのダブルブッキング事件発生
20　交通安全委員会、バイク講習会
21-27　ホームステイ　高見隊員のアレンジでキツイへ
27　ドミトリーにて隊員歓送迎会
28　ナイロビ・ナショナルパークへ同期隊員とサファリ
29-30　個人面接、オリエンテーション、予防注射など
30　副大統領府表敬訪問
31　現地訓練終了
　　同期隊員５人そろって最後の夕食は、中華料理店"ホンコン"で

同期隊員５人そろって

隊員歓送迎会の夜ドミトリーにて
赴任を前にそれぞれの思いを胸に話が弾む

＜隊員活動の記録＞

1994

9・1	国家人口開発審議会　メルー人口事務所へ赴任	
9・30	ナイロビ・インターナショナル・ショー（ジャムフリ・パーク）家族計画に関する出展を見学	
10・5-24	フィルム・ショーに同行	
	（開催場所）	（県名）　（地区）
5	カンバキア教会	メルー／イメンティ・ノース
	キシルネ教会	メルー／アボスグチ・ウエスト
6	P.C.E.A.ガクウニ教会	メルー／イゴジ
	ムリル・メソジスト教会	メルー／イゴジ
7	ルイガ小学校	メルー／アボスグチ・イースト
11	ウダガニ中・高校	タラカニティ／チュカ
12	カニャアガ小学校	タラカニティ／マリマンティ
	P.C.E.A.トゥニャイ教会	タラカニティ／タラカ・サウス
13	ウバリニ小学校	タラカニティ／タラカ・サウス
	ムカリミ小学校	タラカニティ／タラカ・サウス
	カンジョギ	タラカニティ／タラカ・サウス
15	ンサムビロ教会	ニャンベネ／イゲンベセントラル
	マティアンドゥイ小学校	ニャンベネ／マウア・セントラル
17	キテツ教会	ニャンベネ／イゲンベセントラル
	ニャンベネ・ロッジ	ニャンベネ／イゲンベセントラル
18	カリンゲネ・新ローマ教会	ニャンベネ／イゲンベセントラル
19	アムガアア・メソジスト教会	ニャンベネ／ティガニアイースト
21	キサカ教会	メルー／アボスアウア・ウエスト
24	アンジュル・新ローマ教会	ニャンベネ／イゲンベ・サウス
30	PEPP田中清文専門家夫妻、西村隊員、UNFPA 今仁氏、藤江所員とナイロビにて食事会	
11・7	FPAK（Family Planning Association of Kenya：ケニア家族計画協会）のCBD(Community Based Distributor)の "グループ指導" に参加　於：メルー診療所	
9-10	FPAKの "出張クリニック" に参加　於：キブリネ診療所	
14-15	PEPP（ケニア人口教育促進プロジェクト）のケニア人スタッフと共にフォークメディアの視察　於：チョゴリア・マウア病院	
17	FPAKのCBD " グループ指導" に参加　於：メルー、イゴジ地区	
25	FPAKのCBD 月例ミーティングに参加　於：メルー診療所	
12・1-5	カカメガ視察旅行	
1	社会学分科会発足を決定（カカメガ、西村隊員宅）	
9	JICA/PEPP のジョイント・ミーティングに参加（ナイロビ） 地域開発・普及活動の田中専門家の帰国お別れパーティーに出席（ナイロビ／サグレットホテル）	
＊	キビリチアを２回訪問　ヘルスセンターの建設進行具合を見に	

	*	家族計画活動に関係する団体を訪問　メルー、タラカニティ、ニャンベネ各県	
1995			
1・4		社会学分科会　第１回勉強会（ナイロビ、杉田所員宅）	
	5	PEPP訪問、UNFPA(国連人口基金)、ナイロビ大学イーストアフリカカルチャーセンターを西村隊員と共に訪問　夜、藤江所員と食事 第１回 "人口と開発" 対談（ナイロビ、ドミトリー） （これが、"PEOPLE" 誌に掲載となった対談となる）	
	11-12	キビリチア訪問	
	22	第２回 "人口と開発" 対談（ナイロビ、ドミトリー）	
	24	新関隊員の訪問をうける　メルー人口事務所、メルークリニックキビリチアヘルスセンターを案内する	
	25-27	チョゴリア病院・地域医療部門の計画セミナーに参加	
	31	キビリチア訪問	
	*	フィルム・ショーの用意、各団体訪問	
2・7-8		国家人口開発審議会からのDPO プロジェクト調査団を案内	
	10	キビリチア訪問	
	13-28	フィルム・ショー（18日、10団体、18回）	
		（開催場所）	（県名）　（地区）
	13	ングユユ小学校	ニャンベネ／イゲンベ・サウス
	14	ンクウイ・メソジスト教会	ニャンベネ／ティガニア
		カンゲタ女子中・高校	ニャンベネ／イゲンベ・ノース
	15	ムルギ・メソジスト教会	メルー／アボスグチ
	16-17	ケニア山ヘルスサービス診療所	メルー／キノル
	20	カリエネP.C.E.A.教会	メルー／カニャキネ
		聖ルシアン・キズレネ教会	メルー／アボゲタ
	21	ムトゥアティ・ソシオ・ホール	ニャンベネ／ムトゥアティ
	22	ティマウ・ソシオ・ホール	メルー／ティマウ
	23	ンカンド中・高校	メルー／アボスグチ
		ルイガ・メソジスト教会	メルー／イメンティ
	24	ガシゴンゴニ小学校	タラカニティ／タラカ
		ガクルング小学校	タラカニティ／タラカ・サウス
		メルー男子中・高校	タラカニティ／タラカ・サウス
	25	カマリロ小学校	タラカニティ／タラカ・サウス
	26	ラアレ・ソシオ・ホール	ニャンベネ／ラアレ
	27	ムクウニ中・高校	タラカニティ／チュカ
	28	マグモニ・バプティスト教会	タラカニティ／チュカ
3・4		社会学分科会　第２回勉強会（ナイロビ、ドミトリー）	
	6-17	PEPPの95年のカレンダー調査に同行（メルー県のユースグループウイメンズグループ、小学校、中・高校、教会、保健省、FPAK 等15グループを訪問）	
	12-17	PEPPビデオ制作班の調査（メルー、タラカニティ、ニャンベネ）	

3·17　PEPPの佐藤チーフ・アドバイザーのお別れ会に出席
（ナイロビ、セレナホテル）
22　チョゴリア病院の地域保健部門のセミナーで講義
30　PEPP、藤江所員とキビリチア訪問
4· 9　社会学分科会　第３回勉強会（ナイロビ、ドミトリー）
10-12　青木次長と "分科会費用について" 話合い
"PEOPLE"の印刷、発行
13　理数科分科会とはちあわせ「紙がない。印刷機がない」と大慌て
＊　フィルム・ショーの用意、各団体訪問

6·26　キビリチア・ヘルスセンター　開所式
ホールの一つが "KENJI SASAKI HALL" と名付けられ、ホールの前に記念樹（マカデミア・ナッツ）が植えられる

キビリチア・ヘルスセンター
"KENJI SASAKI HALL"

メルー人口事務所で
同僚と一緒に

イシオロでの新隊員歓迎会

＜余暇＞

1994

9･17	セントラル地区新隊員歓迎会（イシオロにて）
	イシオロのホテルでニャマチョマ（焼き肉）パーティ
18	ホテルの前でラクダのいる中、志知・加藤隊員に散髪してもらう
	交通安全講習会、パンク修理の練習
28-29	メルー赴任後初ナイロビ上京、ドミトリーに荷物を取りに
30	JICAオフィスに顔を出す。青木次長と昼食会
10･27-30	志知隊員宅訪問・バイク整備テスト受験
28	志知隊員のフィールドワーク（巡回指導、調査）に同行
11･27	新関隊員宅訪問、AEF(アフリカ教育基金の会）上田さんを紹介
28-30	隊員総会（ナイロビ、ウタリホテルにて）
28	討論会（隊員活動と技術移転について）
	夜、演芸会　美しい女装姿をお披露目
29	運動会、日本大使公邸夕食会
30	カカメガへ　西村隊員宅泊
12･ 1- 4	カカメガ視察　　〃
4	キスムドミトリー泊　ビクトリア湖の夕陽をながめる
	ウエスト隊員とＹ談!?
5- 7	ナクルで作陶（オカリナ作り）　山崎隊員宅泊
	佐藤めぐみ隊員も山崎隊員宅滞在中
10	青木次長宅で歓迎食事会

12･24　ケニア山登山 PM 1:00　チョゴリア病院集合→バンダスハット泊
クリスマスパーティー（登山アレンジ：けんちゃん）
25　バンダスハット→ミントスハット泊
"心臓ドキドキ"　"足が進まない"「無口なけんちゃん」
26　AM 2:00 ミントスハット　→ AM 6:00　オーストリアンハット
→レナナ・ピーク　→　下山　バンダスハット泊
「元気なけんちゃん」
27　バンダスハット　→　チョゴリア　バイクでメルーへ戻る

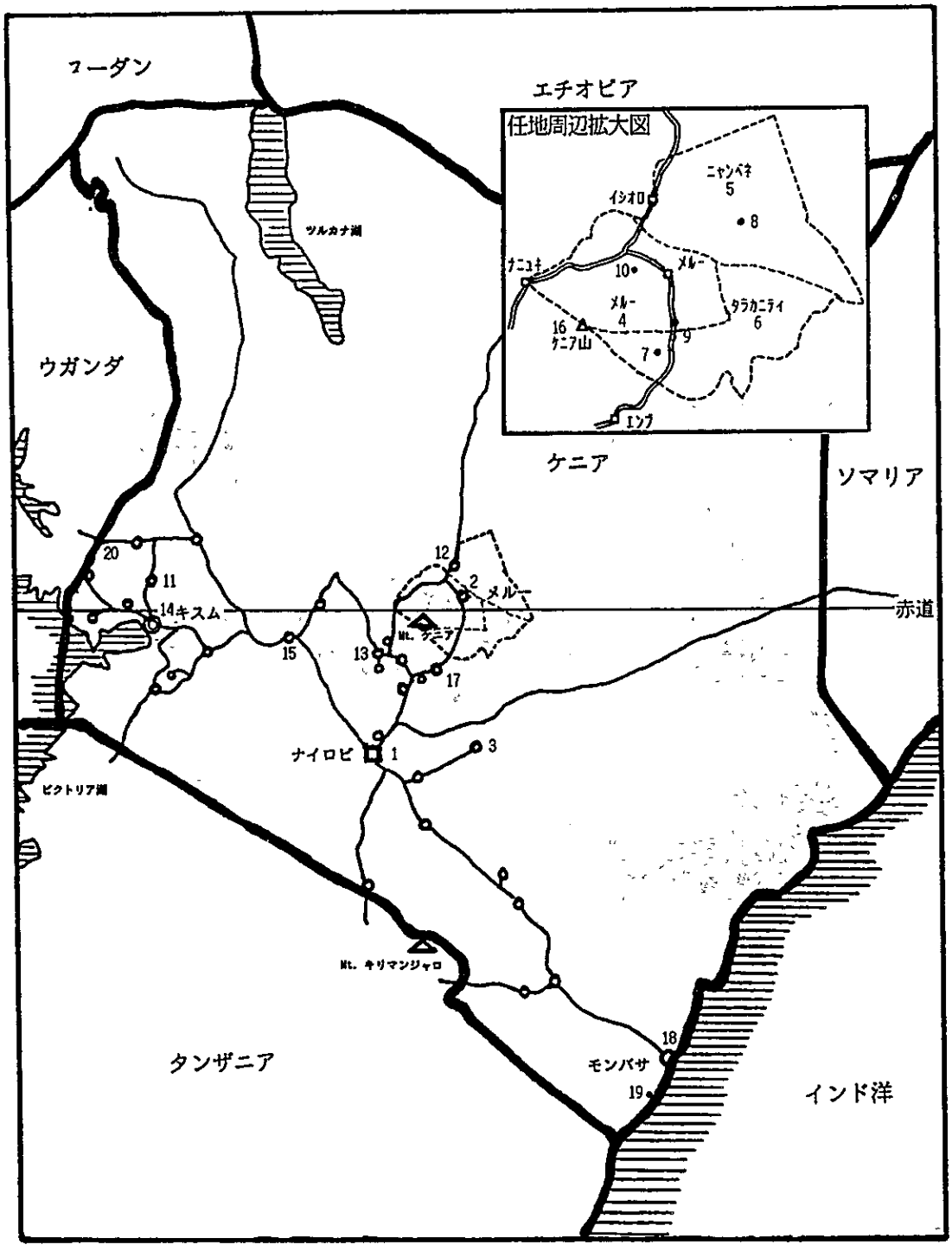
ケニア山登山

1995
1･ 1- 2　キツイのホームスティ先を再訪問
13-15　志知隊員宅訪問
13　アバーディアカントリークラブで紺野・志知隊員と乗馬サファリ
21　隊員歓送迎会（ナイロビ、ドミトリーにて）
2･12　セントラル地区新隊員歓迎会（エンブにて）
3･ 4　隊員総会幹事会（ナイロビ、ドミトリーにて）
5　新関隊員宅訪問
28　イシオロ、畏山隊員宅へ
4･ 7　AEF(アフリカ教育基金の会）が行っているストリートチルドレンのための寺子屋見学（インダストリアル・エリア）
8　二木・志知・山崎隊員とWデート、ナイロビの街を自転車で散策
9　一柳調整員宅訪問　生後５ヶ月「きりんちゃん」と御対面
12　KESTES（ケニア教育奨学金制度）お食事会

4·14	モンバサへ　夕方着　羽柴隊員宅泊　中華料理とビールで乾杯
15	朝－ひとりでモンバサのタウンとフォートジーザス観光
	昼－工藤・玉井・志知・山崎隊員とタウンでピラウの昼食
	→タクシーでニアリビーチへ
	夜－橋本・橋場隊員と合流　ニューフロリダディスコへ
16	志知・山崎隊員とディアニビーチへ　サファリホテルで昼食
	夜－バスにてナイロビへ戻る
17	早朝、ナイロビ着
28	ナイロビ滞在
30	マラバ周辺、国境の街を歩く
5· 1	マラバ　→ナイロビへ向かう
2	ナイロビ　→メルーへ
5· 7	２５才９ヵ月の生涯をとじる

隊員総会演芸会
人生の汚点と嘆きながらも
カメラを向けるとこの笑顔

あしあとマップ


スーダン
エチオピア
任地周辺拡大図
ニャンベネ
5
イシオロ
8
ナニュキ
10
メルー
メルー
4
タラカニティ
6
16
ケニア山
9
7
エンブ
ツルカナ湖
ウガンダ
ケニア
ソマリア
20
11
14キスム
12
2
メルー
赤道
Mt. ケニア
15
13
17
ナイロビ
1
3
ビクトリア湖
Mt. キリマンジャロ
タンザニア
18
モンバサ
19
インド洋

1．ナイロビ	首都　JICAオフィス、ドミトリーがある
2．メルー	任地
3．キツイ	現地訓練中のホームステイ先
4．メルー県	活動地域　フィルムショーなど行う
5．ニャンベネ県	〃　　〃
6．タラカニティ県	〃　　〃
7．チョゴリア	頻繁に訪れたチョゴリア病院がありセミナーでは講義も受け持った ケニア山登山の集合場所でもある
8．マウア	マウア病院も活動地域　フォークメディアの視察などで時々訪れている
9．イゴジ	FPAKのCBD　"グループ指導"に参加
10．キビリチア	ヘルスセンター建設場所　KENJI SASAKI Hall がある
11．カカメガ	西村隊員の任地　視察旅行としてカカメガショーも見学
12．イシオロ	佐々木・志知隊員のセントラル地区歓迎会場所（景山隊員の任地）
13．ニエリ	同期志知隊員の任地　何度か訪問している
14．キスム	ウエスト地区隊員ドミトリーとキスムオフィスがある
15．ナクル	同期山崎隊員のところへ陶芸をしに訪れている
16．ケニア山	1994年12月　クリスマス登山
17．エンブ	６年度２次隊セントラル地区歓迎会場所（佐保隊員の任地）
18．モンバサ	イースター休暇中滞在
19．ディアニ	〃
20．マラバ	労働者の日（５月１日）をはさむ休暇中滞在

川は流れて　どこどこゆくの
人も流れて　どこどこゆくの
そんな流れが　つくころには
花として　花として　咲かせてあげたい
泣きなさい　笑いなさい
いつの日か　いつの日か
花を咲かそうよ

涙　流れて　どこどこゆくの
愛も流れて　どこどこゆくの
そんな流れも　そのうちに
花として　花として　むかえてあげたい
泣きなさい　笑いなさい
いつの日か　いつの日か
花を咲かそうよ

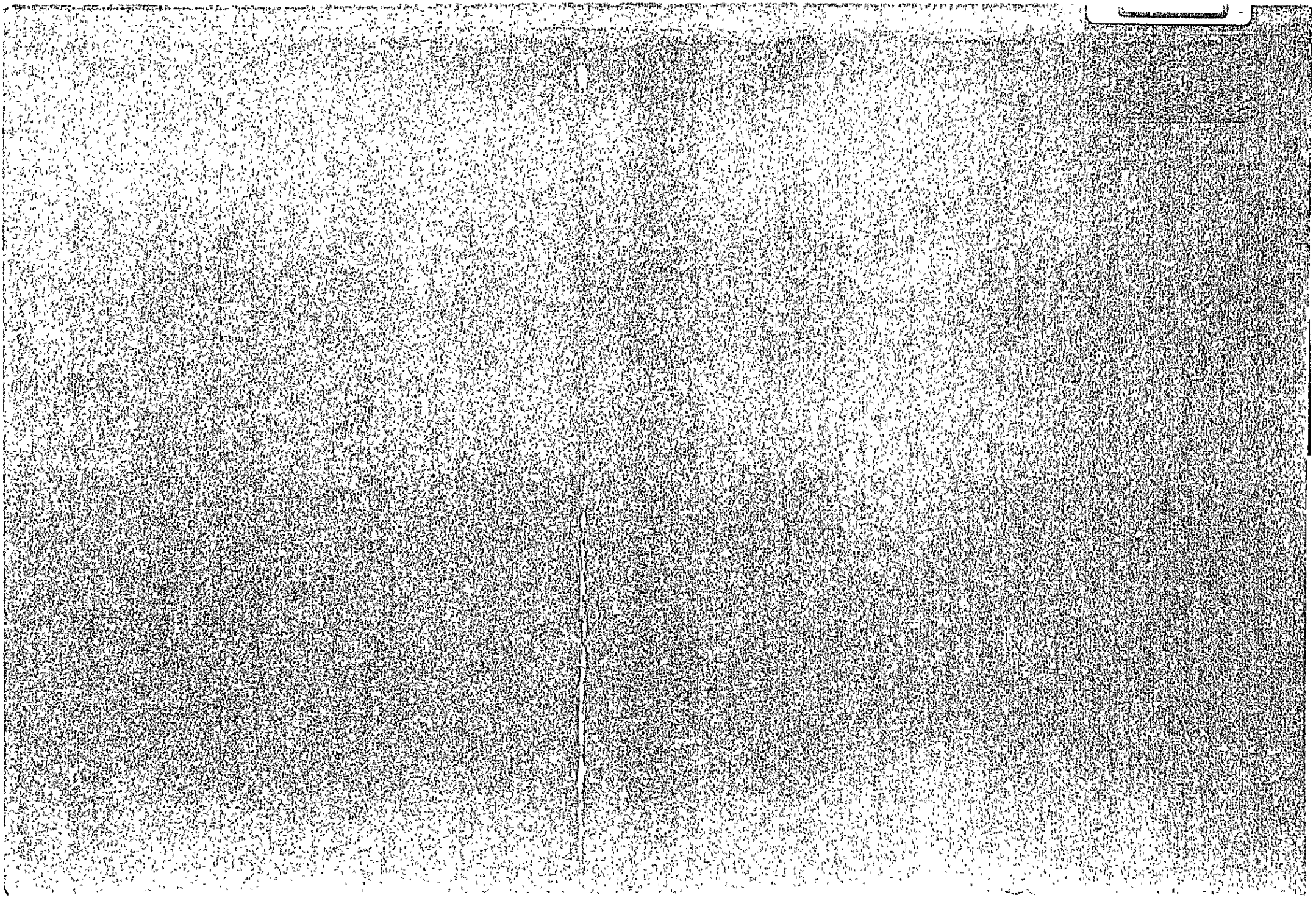
花は花として　笑いもできる
人は人として　涙も流す
それが自然の　うたなのさ
心の中に　心の中に　花を咲かそうよ
泣きなさい　笑いなさい
いついつまでも　いついつまでも
花をつかもうよ

泣きなさい　笑いなさい
いつの日か　いつの日か
花を咲かそうよ

"花" ―― すべての人の心に花を

喜納昌吉　作詞

佐々木謙次君、どうぞ安らかにお眠り下さい。

May You Rest in Eternal Peace, Kenji Sasaki.

編　集　：ケニア青年海外協力隊　文集編集委員会
Editor　：JOCV(Japan Overseas Cooperation Volunteers) in Kenya
発行日　：1995年 8月 8日
発　行　：国際協力事業団ケニア事務所
Publisher：JICA(Japan International Cooperation Agency)
Kenya Office
P.O.Box 50572, Nairobi, KENYA　Tel:724121　Fax:724878